

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人大阪大学 学長 殿

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

A	当初の構想どおりの取組が行われ成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。
---	--

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 大阪大学

(検討会の所見)

- 研究成果を社会実装し、そこで生じる課題を分析して基礎研究を展開し、それをまた社会実装するという研究の好循環を築くことによって社会変革を続けるという持続可能なエコシステムの構築を目指して、諸改革を遂行し、着実に高度な成果を上げている。提示した KPI についてもその殆どを達成している。また、事業終了後の構想も発展形としてすっきりした形の教育・研究・経営に関する計画ができている。
- 「阪大エコシステム」を打ち出し、この構成要素である「研究力強化」、「産学共創拡大」、「社会課題の把握と新領域の開拓」を成果目標に掲げて推進するといった、明確かつエビデンスに基づいた経営戦略が迅速な意思決定を可能にしている。
殆どの KPI は計画を上回る実績を示しており、事業終了後もこれらの実績をもとに調書記載の経営改革を進めてほしい。
- KPI の達成状況からも、研究や社会連携の分野で高い成果が達成されていることが示されているほか、人文科学分野での前向きな改革も進められており、高く評価できる。今後は、調書にもある通り、研究や社会連携の面でのこれまでの取り組みの強化に加え、関西屈指の国立大学として、教育面での社会からの期待にも応えるべく、人文・社会科学分野を含めた質の高い人材の供給にも注力することを期待する。
- 各種 KPI はおおむね目標を達成している。また、社会課題解決のための OU エコシステムの構築という経営改革構想はほぼ順調に進展している。ただし、研究力強化や産学協創と比較して、社会課題の把握と新研究領域開拓については、緒についたばかりの印象を得た。この点は、経営改革構想の中核的なものであるため、今後更に取り組みが強化されることを期待したい。
- 産学連携、寄附金収入などの取り組みは高く評価したい。その他の財務基盤強化策を含めた成果が、研究力強化の成果として結実し、明確に数字にも表れてくることを期待したい。
- 一部の KPI が達成できていないが、新しい課題へのチャレンジ、取り組みが見られる。現在の改革状況を広い観点で見ると十分評価できる。

次項あり

- いわゆる旧帝大系の大型国立大学の中で、もっとも大きな可能性を持っている大学である。特色ある研究分野、スタートアップのシステムを構築しやすいアドバンテージ、そして関西圏の3つの研究大学のなかでグローバルな経営方針を打ち立てやすいという特色を持っている。次の展開に向けて、それをリードするような魅力的なビジョンが必要なのではないか。